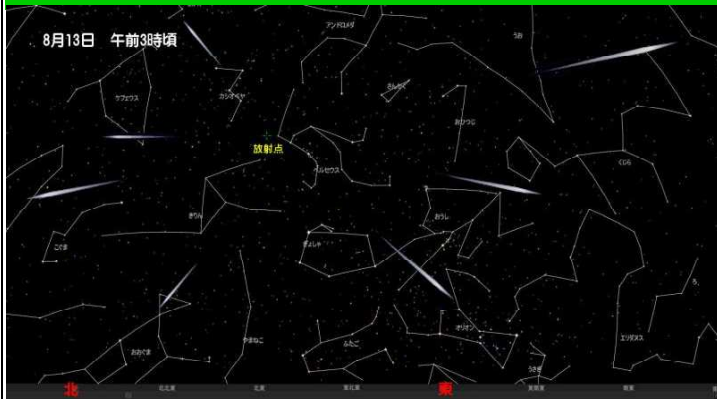


8月大天体ショーが始まる



ヘルセウス座流星群がやって来る！
そもそも流星群って何やって来るの？

三大流星群の一つ、ペルセウス座流星群の季節がやって来ましたね。
 ところで流星群とは何のことでしょうか。簡単に言えば、

流星群にはその元となる母彗星があり、その母彗星の周囲軌道に対応したダストトレイルの中に地球が突っ込んで、その塵が地球上の大気を通るときに摩擦熱が発生し、光るといふことです。これが毎年同じ場所です。もう少し詳しく見ていきましょう。



プラネ新聞

発行所 岐阜市科学館
 〒500-8389
 岐阜市本荘3456-41
 TEL: 058-272-1333
 FAX: 058-272-1303

①ペルセウス座流星群の母彗星は何彗星？
 スイフト・タットル彗星です。1862年に発見されました。

②彗星が塵をまき散らすとはどういうこと？
 彗星は汚れた雪だるまのように表現されています。その汚れとは、彗星の表面を覆っている氷に数ミリ以上の砂粒が混じったものです。太陽に近づくほどに熱により溶けるので塵の数は多くなります。

③ダストトレイルって何？
 彗星は塵をまき散らしながら太陽の向こう側を回り、Uターンするように太陽から離れていきま

す。この時、放たれた塵は彗星が通った軌道に残ります。これをダストトレイルといいます。

④塵の中に地球が突っ込むとは？
 地球は太陽の周りを公転して、この過程で、先程のダストトレイルの中に地球が入っていくという意味です。

⑤摩擦熱で光るとは？
 彗星がまき散らしたチリの帯の中に地球がさしかかると、猛烈な速度で塵が大気中に突っ込んでいきます。およそ40km/sほどで、かなり速く、この速さで塵が大気の中を進むと、そこに摩擦熱が生じます。これが光って、流星として見えるのです。

⑥毎年同じ場所とは？
 ダストトレイルの位置は変わらず、その向こう側にある星座も変わりません。したがって、流星はある一点から放射状に流れているように見えます。この「ある一点」の向こうにある星座の名前をとって、〇〇座流星群と言います。今回の場合は、そこにペルセウス座があるのでペルセウス座流星群と言います。出現期間は7月17日～8月24日です。その内、13日未明午前4時頃に極大といっているのは約50個ほど出現するのではなにかとされています。

超人気番組の紹介コーナー ポケモン「オーロラからのメッセージ」

今回はオーロラの映像が美しいだけでなく、その起源もよく理解できるすばらしい作品に仕上がっています。子どもから大人まで幅広く楽しめます。是非ごらんください。

夏の大三角考！

夏の大三角を形成しているベガ、アルタイル、デネブの3つの一等星を含むそれぞれの星座には、実に多くのネタが含まれています。それを神話レベルで見えていくと次のような内容になります。

まずは「こと座」です。この星座にまつわる神話には、オルフェウス物語があります。死んだ妻を取り返すにいく話ですが、結末は悲劇で終わっています。

「わし座」はどうでしょうか。ゼウスが気に入った美少年ガニメデスを誘拐するためにワシに変身した姿だと伝えられています。誘拐とはあまりよくない行為ですね。

最後に「はくちよう座」ですが、これもゼウス絡みのようです。ゼウスはスパルタ王の王妃レダを気に入って、はくちようの姿に変身し、彼女に会いに行ったとされています。ゼウスには奥さんがいるのですよ。やはりあまりよくない行為ですね。

「夏にはやっぱり夏の大三角だ。」と夢を持ちつつ騒いでいる少女少女のために、神話レベルではあまり掘り下げない方がよいのかもしれないね。やはり、ベガが織姫星、アルタイルが彦星という七夕伝説が夏の大三角にはぴったりかもしれません。ほぼ天頂付近に展開している夏の大三角を、今一度見てみましょう。

